

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
実地棚卸による最終仕入原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①車両運搬具、什器備品
定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引にかかる方法に準じて、会計処理を行っている。
リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券（市債）	210,200,000	0	0	210,200,000
普通預金	0	0	0	0
小 計	220,200,000	0	0	220,200,000
特定資産				
退職給付引当資産	73,415,647	6,252,648	0	79,668,295
事業振興基金積立資産	7,094,640	709	0	7,095,349
小 計	80,510,287	6,253,357	0	86,763,644
合 計	300,710,287	6,253,357	0	306,963,644

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	
投資有価証券（市債）	210,200,000	(114,441,000)	(95,759,000)	-
普通預金	0	(0)	(0)	
小 計	220,200,000	(124,441,000)	(95,759,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	79,668,295	(0)	(0)	(79,668,295)
事業振興基金積立資産	7,095,349	(0)	(4,744,927)	(0)
小 計	86,763,644	(0)	(4,744,927)	(79,668,295)
合 計	306,963,644	(124,441,000)	(100,503,927)	(79,668,295)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産は保有しておりません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,331,745	2,287,338	44,407
リース資産	21,451,500	21,451,500	0
リース資産	24,734,160	1,648,944	23,085,216
合 計	48,517,405	25,387,782	23,129,623

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,042,169	0	2,042,169
前払金	744,332	0	744,332
立替金	3,842,225	0	3,842,225
合 計	6,628,726	0	6,628,726

7. 保証債務等の偶発債務

特にございません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
さいたま市第13回公募公債	20,200,000	20,751,460	551,460
さいたま市第14回公募公債	200,000,000	200,300,000	300,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	さいたま市	0	424,859,841	424,859,841	0	-
民間補助金	さいたま商工会議所	0	180,000	180,000	0	-
民間補助金	公益財団法人JKA	0	20,124,000	20,124,000	0	-
民間補助金	さいたまクリテリウム実行委員会	0	6,937,679	6,937,679	0	-
合 計		0	452,101,520	452,101,520	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	378,328
合 計	378,328

11. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はございません。

12. 重要な後発事象

特にございません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	104,073,231	10,753,591	0	0	114,826,822